

# 令和5年度 河頭中校区小・中連携研修会

## 研究のまとめ



2023.8.21 全体研修会（会場：小山田小学校）

鹿児島市立河頭中学校

鹿児島市立犬迫小学校

鹿児島市立小山田小学校

鹿児島市立皆与志小学校

1 共通実践事項についての振り返り

領域	共通実践事項	振り返り
学習指導	① 家庭学習の習慣化を図る。 ② 授業時間の学習姿勢を整える。	① 家庭学習の習慣化を図ることができ、ほとんどの児童が毎日取り組んでいる。保護者とも連携し、音読や宿題の見届けを行った。タブレット端末を使ったAIドリルなどにも定期的に取り組んだ。 ② 正しい姿勢を意識して授業に取り組めるようになってきている。
生徒指導	① あいさつと返事の習慣化を図る。 ② 忘れ物をしない。	① 「あなたすき」の合言葉を心掛けて、気持ちのよいあいさつができています。担任以外の来客などにあいさつをすることが課題である。 ② 忘れ物0の日を目指して学級で工夫するとともに、保護者に協力を呼びかけ、忘れ物は減ってきている。
保健指導	① 早寝・早起き・朝ご飯の取組をする。 ② メディアコントロールにPTAと取り組む。	① 「家庭でがんばりましょうカード」に毎月1週間ずつ取り組み、保護者と日頃の生活習慣を点検することで、少しずつ改善が見られた。 ② メディアコントロールについては、家庭・個人の差が大きく、健康への影響など、今後も注意が必要である。
生き方指導	① キャリアパスポートの有効活用をする。 ② 体験活動や異年齢活動を通しての「生き方」学習の充実を図る。	① 各行事等の前後に目標や反省を書くことで、児童自身が成長を実感し次の活動への意欲を高めることができた。他教科や特別活動と関連付けて、有効に活用していく。 ② 米作りや昔の道具調べなど、学校や地域の特性を生かした活動を行った。貴重な体験の機会となり、地域への理解も深まった。異学年の縦割り班で全校遊びや話し合い活動などを行い、児童同士の絆が深まった。

2 研修の反省

研修テーマ : 小・中における思考力・判断力・表現力の育成を図る指導・支援の在り方

校内研修テーマ

「自分の考えをもち、伝え合う」授業づくりはどうあればよいか。

【各校で取り組んだこと】 校内研修及び小中連携に関すること

- ・ 研修テーマをもとに、個人の研究テーマを設定し、1年間の計画を立てて各自が実践に取り組んだ。班毎に相互参観を行い、授業の成果と課題を振り返った。また、積極的にICTを活用し、自分の考えをもつための活用、伝え合う場面での活用など、実践を重ねることができた。
- ・ 校内研修でも端末を活用し、教師自身のリテラシーを高める工夫を行った。

【8月21日の研修全体会の振り返り】 成果、課題、運営などについて

- ・ 宗實先生の講義を通して、児童の主体的な学びや意欲を高めるための指導について大変参考になった。
- ・ 各学校での取組を知るよい機会となった。

【全体を通して 今年度の成果と課題】 テーマに関する成果と課題、参加意識、運営面など

- ・ 本校の児童も減少傾向にあり、次年度も5・6年が複式学級となる予定である。そこで、複式学級での学習方法や指導について研修が必要である。また、中学校への学びや生活につなげられるように、引き続き共通実践事項を共有、実践していく。

1 共通実践事項についての振り返り

領域	共通実践事項	振り返り
学習指導	① 家庭学習の習慣化を図る。 ② 授業時間の学習姿勢を整える。	① 家庭学習を習慣化するためには保護者の協力が不可欠である。今後も引き続き、学期はじめに家庭学習についての案内や宿題の取組例等を配布し、継続して協力を呼びかけていきたい。同時に児童自身の意識も高め、できることは自分で確実に取り組むことができるようにしていきたい。 ② 体育での体幹バランストレーニングの効果もあり、改善傾向にある。
生徒指導	① あいさつと返事の習慣化を図る。 ② 忘れ物をしない。	① 止・目・先あいさつを心がけて、日々元気な挨拶ができてきているが、来校者などについても自分から先にと意識が低く、これからの課題である。 ② 学習に必要な道具類は、週報等で事前に知らせるようにすることで保護者の協力も得られ、忘れ物もほとんどなく活動を進めることができた。
保健指導	① 早寝・早起き・朝ご飯の取組をする。 ② メディアコントロールにPTAと取り組む。	① 朝食は欠かさずどの子も食べていた。しかし、夜更かし(夜のゲームの長時間化、オンライン)が原因か、朝から疲れた様子で登校する子も多い。指導もしているが、家庭でも苦慮されている様子が伺えた。 ② 児童アンケートやPTAなどを通して、メディアとの付き合い方や各家庭でのルール等について話題にして、自分の使い方を振り返ることができた。
生き方指導	① キャリアパスポートの有効活用をする。 ② 体験活動や異年齢活動を通しての「生き方」学習の充実を図る。	① キャリアパスポートは、改めて自分を振り返る落ち着いた時間を持つことができ、自己肯定感を高めるよい機会になっている。(低学年は記入が難しい。) ② 縦割りの清掃活動や異学年集団「にじいろグループ」での活動など、縦割りによる活動が充実しており、発達段階に応じて仲良く、協力し合って生活できるようになってきている。

2 研修の反省

研修テーマ : 小・中における思考力・判断力・表現力の育成を図る指導・支援の在り方

校内研修テーマ

「手応えのある学び」を実現するための授業づくり  
～児童一人一人が自ら学ぼうとする手立ての工夫を通して～

【各校で取り組んだこと】 校内研修及び小中連携に関すること

・ 各学期に1回【授業力UP週間】を位置づけ、年3回の相互参観の機会を設定した。授業は全職員が行い、それぞれが教科・課題を設定して、授業計画シート(略案)にねらいや手立て、目指したい児童の姿など参観の視点を明記するように工夫した。参観後、授業反省を行い、各学級の課題→犬迫小学校の課題へと全体で共有しながら、児童が自ら学ぼうとするために必要な手立てを具体化することができた。

【8月21日の研修全体会の振り返り】 成果、課題、運営などについて

【成果】・ 児童の思考する姿を具体的にイメージして授業を計画することの大切さを感じた。  
・ 「問い」の効果的な使い方を知り、なぜ、だから、つまりなど、児童の日常の言葉をしっかりと拾い、さらに広げることが深い学びにつながると感じた。  
・ 目に見えない思考や態度の評価方法についても、イメージをもつことができた。

【全体を通して 今年度の成果と課題】 テーマに関する成果と課題、参加意識、運営面など

・ 河頭中学校区は、小規模校が多いので、複式教育やガイド学習などの実践や研修を計画していただけると各小学校で6年間共通して実践したことを中学校でさらにレベルを上げて取り組めるのではないかとと思う。  
・ 他の中学校区のように、夏季休業以外で実施することができないか。

1 共通実践事項についての振り返り

領域	共通実践事項	振り返り
学習指導	① 家庭学習の習慣化を図る。 ② 授業時間の学習姿勢を整える。	① 習慣化は図られたが、字の丁寧さが気になる。個人にあった課題を出すように心掛けた学級もある。 ② 「グー・ペタ・ピン」の合言葉で授業はじめと終わりは姿勢を正すように心掛けた。
生徒指導	① あいさつと返事の習慣化を図る。 ② 忘れ物をしない。	① 名前を付けて立ち止まってあいさつするよう心掛けた。個人差があるため、SSTでも取り組んだ。 ② 忘れ物がある。学級通信で知らせているので、読んでもらう声をかけ、必要に応じ連絡帳などを活用する。
保健指導	① 早寝・早起き・朝ご飯の取組をする。 ② メディアコントロールにPTAと取り組む。	① メリハリ生活チャレンジカードの活用で意識が高まっている。 ② 学校保健委員会などでも話題にして取り組めた。アウトメディアの時間を設定したことで、成果が出た。
生き方指導	① キャリアパスポートの有効活用をする。 ② 体験活動や異年齢活動を通しての「生き方」学習の充実を図る。	① 各行事や学期ごとの振り返りをするのができた。次につながる意識付けにもなっている。 ② 縦割り班での自主トレ、遊ぶ日、掃除などの活動を通して、上学年が下学年の面倒を見ることができていた。生活単元活動で野菜作りなど体験活動を実施できた。

2 研修の反省

研修テーマ : 小・中における思考力・判断力・表現力の育成を図る指導・支援の在り方

校内研修テーマ

「運動好き」皆与志っ子を育てる体力向上の実践

～「皆与志モデル」の充実を通して～

【各校で取り組んだこと】 校内研修及び小中連携に関すること

- ・ 本校の研修を通して、思考力・判断力・表現力の育成を図るためにワークシートや板書の工夫などをし、子供たちの話し合いの場の工夫などを促すことができた。
- ・ 中学校のテスト期間に合わせて、家庭学習充実期間を設定し、家庭学習に取り組ませた。

【8月21日の研修全体会の振り返り】 成果、課題、運営などについて

- ・ 社会科の学習について学べたことは有意義だった。しかし、半日の研修では、時間が足りないもので、何に重点をおき、小中連携をしていくのか考えていくことが必要である。

【全体を通して 今年度の成果と課題】 テーマに関する成果と課題、参加意識、運営面など

中学校の先生方と話をすることで、切れ目のない支援・連携が必要だと感じた。それをテーマに盛り込んで研修を進めていきたい。

Ⅰ 共通実践事項についての振り返り

領域	共通実践事項	振り返り
学習指導	① 家庭学習の習慣化を図る。 ② 授業時間の学習姿勢を整える。	① 「宅習改善プロジェクト」を生徒会と連携し、その日の宅習内容の目標を各自設定など、ただやるだけの宅習から意図を持って取り組む宅習への移行を図った。 ② 生徒のスタンドアートを明らかにして、聞く姿勢、発表する姿勢を意識して取り組ませた。
生徒指導	① あいさつと返事の習慣化を図る。 ② 忘れ物をしない。	① 生徒指導係による全校朝会等でのあいさつの重要性の講話と意識付けを行った。毎月の一事徹底項目にして意識付けを図った。 ② 各学級で教科連絡の徹底を図り、やりとり帳を活用して記録をすることで忘れ物防止を図った。
保健指導	① 早寝・早起き・朝ご飯の取組をする。 ② メディアコントロールにPTAと取り組む。	① PTAとの連携を図り、学年PTA等での保健生活部からの報告等で家庭への啓発活動を行った。 ② 学校保健委員会でワークショップ形式で学年ごとに課題と対策を検討しまとめた。
生き方指導	① キャリアパスポートの有効活用をする。 ② 体験活動や異年齢活動を通しての「生き方」学習の充実を図る。	① 各行事での事前学習、振り返りの時間にキャリアパスポートを効果的に活用できた。 ② 作業時間に学年を解いて、作業場所を担当することで縦のつながりができ、効果的であった。 ③ エイサー活動では、エイサーリーダーが中心となり活動内容や指導方法を模索していく中で、連帯感や協調性を身に付けた。

2 研修の反省

研修テーマ： 小・中における思考力・判断力・表現力の育成を図る指導・支援の在り方

校内研修テーマ： 「思考力・判断力・表現力の育成～『課題設定』と『思考・判断・表現』を伴う活動の創造～」

【各校で取り組んだこと】 校内研修及び小中連携に関すること

- 河頭スタンダードの共通理解と実践 → 英語科を中心として、本校の取組の公開を行った。
- 「思考・判断・表現」の力をつけていくために、各教科での実践を報告したりすることで課題や指導方法を共有・検討し、学校全体がまとまり取り組むことができた。

【8月21日の研修全体会の振り返り】 成果、課題、運営などについて

- 校区内の全学校が一堂に会して、情報を交換するよい機会であった。
- 時間的に厳しいと思うが、この会の後、各学校で、どのように実践し、どのような変容が見られたかを検証する場を設けられると、さらに充実した連携ができると思う。

【全体を通して 今年度の成果と課題】 テーマに関する成果と課題、参加意識、運営面など

- 意義のある小中連携研修にするためには、定期的な開催と年度末の検証の機会が必要であると考えられる。お互いの授業の様子を参観する機会を設けるのもいいかもしれない。今一つ全体での柱が見えなくて、参加意識も高まっていないように思える。時間と場所を考えると難しいので工夫が必要。